

令和5年

# 6月定例会の結果

6月1日～6月30日（会期：30日間）

市長提出議案 21件  
議員提出議案 1件  
請願 2件  
陳情（※陳情は採択しません） 1件



詳しくはこちら

## 全議員が賛成した議案・請願

**予算** 一般会計補正予算（第2号） など予算案件2件

**条例** 都市計画法施行条例の一部改正 など条例案件8件

**その他** 救助工作車の取得 など事件決議4件、人権擁護委員候補者の推薦 など人事案件2件、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2024年度政府予算に係る意見書の提出 意見書案1件

**請願** 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願 請願1件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

## 賛否が分かれた議案・請願（松岡信生議員は、議長のため表決に加わりません） 賛成：○ 反対：× 棄権：—

件名	議員名											結果								
	盟政会				新政みらい			公明党		日本共産党三田市議団			市民の会		無会派					
	福田秀章	森本政直	幸田安司	小杉崇浩	今北義明	厚地弘行	北本節代	佐貫尚子	中田哲	大西雅子	福田佳則	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	檜田充	美藤和広	肥後淳三	林政徳	井上昭吾	
予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成16人 反対3人 可決
条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成16人 反対3人 可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成16人 反対3人 可決
	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	○	○	○	×	×	—	×	×	賛成3人 反対14人 棄権2人 不採択
事件決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成16人 反対3人 可決
請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	賛成3人 反対16人 不採択



**内容** 第41号は、令和5年度の市民病院事業会計の予算を補正する議案、第50号は、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による急性期医療の確保に関する神戸市との連携協約の締結に係る協議について

**可決**  
賛成16名  
反対3名

### 反対討論

市民病院の存続を求める累計34,000筆にのぼる署名や、パブリックコメント、意見交換会でも多くの反対意見がある中、民意が反映されていないとして住民投票条例の制定の請求に至っており、新統合病院の整備候補地調査のための債務負担行為を認めるわけにはいかない。また、神戸市との連携協約の締結に係る協議を進めるべきではないと考えるため、反対。  
（日本共産党三田市議団 木村雅人）

### 賛成討論

市民の命を守り抜くためには、急性期医療を将来にわたって堅持し、充実させる必要がある、市民病院の再編統合を何としても成し遂げなければならないと考える。新統合病院の整備に向けた取組を前進させるために必要な補正予算であり、また、神戸市との役割分担のもと、用地取得等の事務を円滑かつ確実に進めるためのものであるため、賛成。  
（公明党 大西雅子）



**内容** 第42号は、新型コロナウイルス感染症に係る防疫作業手当の特例に関する規定を削除する議案、第43号は、地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、市税条例の一部を改正する議案

**可決**  
賛成16名  
反対3名

### 反対討論

議案第42号について、新型コロナウイルス感染症の位置付けは5類感染症となったが、危険であることには変わりはない。依然として職員の感染リスクが高い中、手当を廃止すべきではない。  
議案第43号について、森林環境税は、個人住民税均等割として一律に課税するものである一方、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を排出する企業には一切負担を求めている。コロナ禍や物価高騰で厳しい状況の中、市民に負担を強いるべきではないと考えるため、反対。  
（日本共産党三田市議団 木村雅人）

### 賛成討論

議案第42号について、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことに伴い手当の支給が廃止されるもので、全国の自治体においても同様に廃止しており、適切な改正である。  
議案第43号について、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の規定に基づき、市が国税としての森林環境税を住民税均等割対象者に賦課徴収するために、必要かつ適切な改正であると考えられるため、賛成。  
（公明党 大西雅子）



**内容** 請願第10号 インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書

**不採択**  
賛成3名  
反対16名

（請願者）三田民主商工会 吉岡 昌保氏、竹内 清美氏  
（請願の趣旨）インボイス制度の実施延期を求める意見書の政府への送付を求めるもの

### 委員会審査報告より（審議経過）

自由討議では、個人への制度の説明責任を求める趣旨の請願なら理解できるという意見や、事業者等の助成制度の整備を求める方がよいのではという意見があった。討論では、国での議論が十分でなく、市民や事業者への影響も考慮し、中止または延期すべきという意見があった。採決の結果、賛成少数のため不採択と決した。  
（経営政策常任委員長 厚地弘行）

### 賛成討論

コロナ禍の影響に加え、急激な物価上昇が家計や事業経営を圧迫し、地域経済の停滞を招いている中、国においても十分な議論がされたと言える状態ではない。10月の制度実施は中止し、十分な議論がなされるよう、インボイス制度の延期を求める必要があると考えるため、賛成。  
（日本共産党三田市議団 水元サユミ）